

石川 深理さん（平成17年卒） フルート・ピッコロ奏者

◇現在の所属先と活動状況を教えてください

フルート・ピッコロ奏者として、岩手県奥州市を拠点にフリーランスで演奏活動をしています。演奏楽器は「フルート」を主軸に、同族楽器のピッコロ、アルトフルート、バスフルートを演奏しています。

仕事内容は、自身のリサイタルをはじめ、各種イベント依頼演奏、オーケストラや結婚式場等での演奏を行います。その他、学校（吹奏楽部）に伺いフルート・ピッコロ演奏指導とアンサンブルのレッスン、又、初心者から大人向けのフルートレッスン、音楽大学を目指す中高生向けのマスターコースなど、後身の指導にも力を注いでいます。

フルートの演奏活動をきっかけに、地元ラジオ放送局からのお声掛けがあり、クラシック音楽やワールドミュージック（世界中の音楽）を紹介する番組のパーソナリティーも務めています。

※奥州エフエム放送「ヴィヴァ・ラ・ムジカ！」毎週火曜日（クラシック番組）、
「にじいろ音楽館－水曜日－」毎週水曜日（世界の音楽）



◇仕事を通じてどんな喜びを感じますか

音楽大学を卒業してから、多くの場面で演奏する機会を頂き、その都度喜びに溢れた記憶がたくさんありますが、特に嬉しく感じたこと…フルートの音を聴いて、空気が和やかになったり笑顔になったり、元気になるってくれる様子に出会える瞬間ですね。

◇将来の夢を教えてください

フルート、ピッコロ、アルトフルート、バスフルートの全てを使用したフルートリサイタルの開催です。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

吹奏楽部には在籍していなかったので、毎日学校に行く前と帰宅後、フルートやピアノを猛練習していた記憶があります。3年生の時に入っていた生徒会では、同じ意思を持つ仲間との関わりの中、発言・実行する大切さを学び、学校行事等の運営を通して味わった感動体験や成功体験は、今の自分の礎になっている気がします。何より、現在も交流が続く大切な友人や個性的な先生方との出会いは宝物で、3年間とても自由に楽しく積極的に過ごしていた思い出があります。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

「目の前のことに心を込めて向き合う。」 一意専心。 私が心がけていることです。

音楽は一音一音に気持ちを乗せて一曲を完成させます。音楽も、音符と時間の積み重ねで成り立っています。それと同じく、大きな夢や目標も日々の目標設定無しには成り立たないと思っています。

目標も夢も考え中…大きな夢を持つことも大事ですが、それより一分一秒の積み重ねが明日の自分を作ると信じ、何事にも誠実に一心に集中して取り組むことが大切だと思います。（自分自身のアンテナはしっかり立てて！）そして、自分が得意なこと、好きなこと、力を入れていきたいことを見つけた時には心を決めその分野を磨き、遠からず近からず、ぜひ、世のため人のために活動していけるような、勇気と真心を持った行動に繋げていってほしいと思います。

☆取材後記

熱くて深いメッセージを有難うございました。 石川さん、益々のご活躍を！